

鎮西学院だより「シャロン」

2016. Vol.2

Sharon

2016年度 鎮西学院目標聖句

「確かに未来はある
貴方の希望は断たれることはない」

旧約聖書 箴言23章18節



愛あふれる教えを

自分が人の役に立っている
人から信頼されているという
意識を持ってほしい

学校法人鎮西学院 理事長 栗林 英雄

Profile

昭和9年2月9日生まれ。鎮西学院高等学校、早稲田大学商学部卒業。九州ガス設備株式会社代表取締役会長、(株)サンフリオ代表取締役会長、諫早商工会議所会頭、長崎県教育委員長などの要職を歴任。平成20年学校法人鎮西学院理事長に就任、現在に至る。平成23年旭日小綬章受章。

鎮西学院中学校、鎮西学院高等学校の出身で、
長きに渡り校友会会長も務めた栗林理事長は、
誰よりも鎮西学院のことを知り、
鎮西学院のことを愛しています。
135年という節目を迎えるにあたり、
お話をお聞きしました。



沖縄県石垣島



徳を積むということ いちばん大切に

今年、鎮西学院は創立135周年を迎えます。創立者C・S・ロング博士が抱いた開学の精神は、今日まで大切に受け継がれてきました。

「当初の名称は、加伯利（カブリー）英和学校。英語を通じて世界を理解しようというのが発端で、英語中心に教育の指針を求め、キリスト教に基づく人格形成を行ってきました。ささやかでもいい、人から当てにされる、人の役に立つ。隣人の心の痛みがわかる、傷みを和らげる。そういう人になつてもらいたいという人間教育を135年培ってきたわけですよ」。

勉強も鍛える、スポーツも鍛える。でも、そこには、人間的なあたたかみがある。鎮西学院ならではの素晴らしい教育です。

「落ちこぼれを出さない。縁あって鎮西学院に来てくれた子供達を大事に育てて、社会に送り出そうと。だから、入った時と出て行く時では、随分違いますよ。やはり、導くということ。人間というのは、先輩や目上の人が導いてくれないとわからないわけですよ」。

学ぶことの目的は、決して偏差値だけではないとお考えだとか。

「偏差値は、大学を受けるための一つの戦法であつて、それが人生のすべてではありません。学問によって、自らを鍛え、脳の活性化を図っていくと同時に、自分の学

問が、世のため、人のために役に立っているかを考える。知識も武学も大切ですが、でも、徳を積むことがもつと大切だと思います」。

理解し合うという 平和の原点を忘れずに

鎮西学院は、平和の意味を問い続けてきました。学是の中にも、「平和の使徒であれ」という言葉があります。

「今は、誰もが、平和、平和と言っていますが、我々は創学以来ずっと平和を唱えています。理解し合う、憎しみを捨てるというのが、平和の原点ですね。本当に人を愛しているか。自分以上に人を幸せにしたいと考えているか。世の中の風潮に従っているだけじゃないか。人々を思う、人を大切にすることをしたいですね」。

最近の傾向として、人と人のつながりが希薄になってきたようにも思えます。

「情実のない、単なる通達だけで世の中。会話が減り、コミュニケーション能力が少なくなつてきているように思います。もっと face to face で、人が心と心をぶつけ合うような世の中にしたいと思いますね」。

早稲田大学出身でラグビー好きという

理事長は、ラグビーのチームプレーの精神「One for all, All for one」「1人はみんなのために、みんなは1人のために」のように、互いに助け合い、感謝し合うことを重んじています。

「先生が生徒を心から教える。生徒が先生を親しみながらも尊敬する。そういう雰囲気を出すことが大切だと思います。そして、みんなが感謝の気持ちを持つていけば、いいな思いをせずにすむと思います。せめて学院の中では、感謝の気持ちを持つてもらいたいですね」。

常に学ぶ姿勢を 持ち続け次なる ステップへと

今年4月には、政治学者で東京大学名誉教授の姜尚中（かんさんじゅん）さんが、鎮西学院の教育顧問に就任します。それに先立つて、2月2日には講演会も開催されます。今後の展開に、ますます期待が高まります。

「姜先生は、とても人間性豊かな方です。先生が体験されたことを教えていただきたい。そして、教わると同時に学ばないといけない。講義はもちろん、折々には市民対象の勉強会や講演会も考えています。先生の存在によって、鎮西学院全体が

さらにより良い方向へ向かうと思つています」。

様々なことを極めてきた理事長は、趣味もいろいろ。中でもダイビングは、かなりのキャリアだとか。

「ダイビングを始めて22年。せっかく与えられた人生、楽しく生きていきたいですね。何事にもルールがあつて、ルールを乱すことによって、自分のマイナスになる、人に迷惑をかける。ダイビングは、そうしたことを実感させてくれます」。

自然を相手にする、年齢や地位など全く関係のない世界です。

「海に潜れば、インストラクターの指示は絶対。若者から教わるというのは、一つの快感。おもしろいですね。それに、学業、仕事、趣味、何に関しても、人は悔しさを覚えないといけない。悔しさを覚えてワンステップ。悔しさを糧として、頑張らないといけないですね」。

常に学ぶ姿勢を持ち続ける理事長。88歳の米寿までダイビングに挑むという情熱に感服です。これからも、愛あふれる言葉で叱咤激励をお願いします。



フィリピンセブ島



フィリピンセブ島

先輩、こんにちは！

「大切なのは、
相手の立場に立つということです」。

粕谷製網株式会社 会長
粕谷 勝(かすたに まさる)さん

Profile

鎮西学院高等学校卒。

東京経済大学(短大)卒業後、大手製網会社での研修を経て、家業の粕谷製網に就職。1966(昭和41)年の有限会社化を経て1972(昭和47)年に株式会社に組織変更。1985(昭和60)年に父親の跡を継ぎ社長就任。2010(平成22)年、取締役会長に就任。

人間を育てる鎮西学院で

大阪の八尾市で生まれた粕谷さんは、人情味あふれる親分肌。5歳の時に、母親のふると諫早に疎開してきました。高校時代は柔道部のキャプテンを務めていたそうで、柔道は3段の腕前です。「柔道部の仲間とは、今でもつきあいがありません。私達の時代は、転んでいる人がいたら声を掛ける、困っている人がいたら助ける、そういう気持ちがありましたよ」という粕谷さん。学業優先で、人へのやさしさや人間関係が稀薄になっていくことを懸念しています。「自分さえ良ければ、勉強さえできればという教育を受けた人が、社会に出たらどうなるのか。日本の舵を取つたらどうなるのか。私達は、鎮西で素晴らしい教育を受けました。昔も今も、鎮西は、一人ひとりを重んじる、人間を育てる学校です」。鎮西学院を巣立つてから半世紀以上、鎮西スピリッツを息づかせ、母校への誇りを抱き続ける粕谷さんです。

求められる提案を幅広く

高校卒業後、東京の短大に進学。「ものづくりが好きだから家業を手伝おうと思って、諫早に戻ってきました」。撚糸(ねんし)機械の技術者だった父親が、終戦の

翌年に現在の本社地に撚糸機械を据えて糸作りを開始。チャレンジ精神あふれる粕谷さんは、時代を読み、新たな仕事に果敢に挑んでいきました。「物売りの商売をさせてほしいとおやじに頼んで、いろんなものを売って回っていたんです。そして、『注文取りだけではだめだ。とにかく魚の取り方を勉強しないと網は売れないぞ』と教えてくれた漁労長がいたんですね」。アドバイスを真摯に受け止め、父親とともに漁場診断、網の設計・製作、敷設という提案型営業を考案。九州一円から沖縄、中国、関東へと販路を広げていきました。さらに、多くの漁労長を雇い入れ、漁場作りのサポートを本格化。また、単身乗り込んだ沖縄では、定置網漁はもとより魚の販売も手伝い、大幅な収益アップを成功させました。



本社工場空撮



創業当時から続く燃糸（ねんし）の作業場で。



KIKKONET（キッコネット）の素晴らしさを語る粕谷さん。



KIKKONETの生産風景。



諫早の広大な自然に抱かれる粕谷製網本社。

新たに海、陸、海外へと

そして時代は、「取る漁業」から「育てる漁業」と。1982（昭和57）年から合成繊維大手の東レと共同で、樹脂100%の養殖用の生簀網に取り組みました。編目を亀甲の形状にして、結節部に2回ひねりを加えることで強度が高められ完成したプラスチック製網「KIKKONET（キッコネット）」。

最初こそ苦戦したものの、その良さが口コミで広がり、確実に受注が増えていきました。「耐久性のある網を広めたら市場に限界が来る。地上部門に乗り出し、日本がいっぱいになったら世界に出れば良いと考えてきました」とビジョンを語る粕谷さん。

落石防護、海や川の築堤根固め、高速道路への小動物侵入防止網など使用場所は多様に広がり、イタリア、アメリカ、ネパール、オーストラリア、ノルウェーなどの企業と契約するなど、海外進出も順調に伸び続けています。

積極的に自己アピールを

「私が大切にしてきたポリシーは、相手の立場に立つということです。それは、仕



KIKKONETを使った生簀。

事をしていくうちに、だんだん気づいてくるわけですね。私も最初は、作りやすいから、儲かるからと、自分本位で売っていましたよ。努力を重ね、継続することで、顧客ニーズが明確になってくるという粕谷さん。お客様の立場で諫早を見つめ、お客様の求めるものを提供していくことを提案します。「諫早にはいいものがたくさんあります。頑張っている人がたくさんいます。ただ、そのことがあまり知られていないように思います。自己アピールをどう

したら方が良いと思いますね」。諫早から世界に向けて情報を発信し、世界を相手にする粕谷さん。常に闘志満々、何とも頼もしい先輩です。



KIKKONETを使ったグラウンドのネット。

鎮西学院の頑張りや、生徒、学生、卒業生、教師、誰にとってもうれしいものです。鎮西学院の生徒や学生の活躍ぶりにスポットをあててご紹介します。

体操競技

寺田 葉月さん(長崎ウエスレヤン大学 経済政策学科 3年)

最近の主な成績

2014年10月 第69回国民体育大会 長崎がんばらば大会
体操競技 成年女子の部 準優勝

2015年5月 第63回九州学生体操競技選手権大会
女子個人総合選手権の部 3位
女子種目別選手権の部 段違い平行棒2位 平均台4位

2015年11月 平成27年度長崎県民体育大会
体操競技 成年女子 団体優勝
女子個人総合優勝
女子種目別 平均台優勝 ゆか優勝

若々しくキラキラと輝く表情が素敵な寺田さんは、芯が強いがんばりやさん

コーチに聞いてみました。

体操のおもしろみは、たとえば技ができるようになったとか、自分で自分の成長が目に見える、はっきりわかるところです。葉月も、そうして体操の魅力を実感してきたんだと思います。

葉月のいいところは、まじめなところですね。体操って、気を抜こうと思ったら、いくらでも気を抜くことはできるんです。でも、葉月は、ちゃんと練習に来て、ちゃんと試合に向かって努力をする。まじめですよ。

お母さんのお腹にいる時からうちには来てたんですけど、もう大学生なので自分で何をやらなくちゃいけないかというのは、わかってると思うんですね。やる、やらないは、本人の気持ち次第なので、あまり言うことはないのかなというのはあります。4月から始まる大学生最後のシーズンで、いい結果を残せるといいですよ。



スポーツクラブ内村 代表
(社)全日本ジュニア体操クラブ連盟加盟
諫早市体操協会理事長 内村和久コーチ

【内村和久コーチプロフィール】
柳川商業高校(現柳川高校)時代に高校総体のゆかと跳馬で優勝経験を持つ、日本体育大学体操競技部出身の元体操選手。1992年「スポーツクラブ内村」開設。金メダリスト内村航平選手の父。

幼い頃から体操とともに

「幼稚園ぐらいまでは体操をするのがいやで、ずっと泣いていました。でも、小学校に入学したぐらいから、だんだんわかるようになってきて、だんだん楽しくなってきたんです」という寺田葉月さんが体操を始めたのは3歳の頃。年上のいとこが習っていて、それをずっと見ていたお母さんが我が子にもということ、内村スポーツクラブに通うようになったそうです。

最初は、簡単に体を動かすことやリズム運動などから、徐々に、マット運動、前回り、後ろ回りとステップアップしていきました。「小さい頃からやっていたので体が柔らかくて、硬くなったことがないんですよ」。実にうらやましい柔軟な体の持ち主の寺田さんが、試合への出場や試合で勝つことを目標に掲げる選手コースに進んだのは小学校1年生の時。そこから、本格的に体操と向き合う日々がスタートしました。

栄光への努力を重ねて

選手コースで、土曜、日曜関係なく毎日4時間の練習をこなしてきた寺田さん。体操を始めて約20年、学校が終わったら練習という生活が15年続いています。「ここまで続けてこれたのは、内村先生と両親のおかげです。先生は私がいいい演技ができるように指導してくださいまし、

両親は月謝を何も言わずにずっと払ってくれて、送り迎えもしてくれています」。

他の習い事は一切せずに、体操一筋。小学校の中学年ぐらいから、バク転や宙返り、ひねりなどができるようになり、体操に夢中になっていったそうです。体操が続けたくて、高校は鎮西学院高校を、大学は長崎ウエスレヤン大学を選びました。

女子の体操競技は、ゆか、平均台、跳馬、段違い平行棒の4種目。中でも平均台が得意で、長崎県内はもとより、九州、西日本、全国の舞台で活躍してきた寺田さんは、まさに長崎が誇るアスリートです。一昨年の長崎国体では、体操競技成年女子の部準優勝という素晴らしい結果を



鎮西学院高校1年の弟・寺田優太さん(左)も体操競技の選手。内村コーチと3人でにっこり

残し、地元での大会を大いに盛り上げました。

体操で学んだことを礎に

「私は、他の人より不器用なんです。運動神経が鈍くて、感覚もあまりよくない。球技はまったくできません。だから、何回も練習して、こなしていく感じですよ」。まだ途中で中途半端なことが嫌いな寺田さんは、目標に向かって努力を重ねるタイプです。「遊びたいとか、練習をしたくないと思う時もあります。でも、ここでやめたらもったいない。今頑張っておけば、引退した時に頑張つてよかったと思えるかなと



得意の平均台でバランスを保って美しく

…それに、私、負けず嫌いなんです」。卒業後は、体操を離れて、社会人として仕事に力を注ぎたいという希望を持っています。「1つのことをここまで続けてこれたのは、自分の中でも自信になっているし、社会に出て役立つかと思っていました」。

寺田さんの体操選手としての最後のシーズンは、今年の4月から始まります。そして、その先に広がる新たな人生でも、体操で学んだことは大きな支えとなり、寺田さんを力強くサポートしてくれることでしょう。

柔軟な体でゆかかのポーズも
ばっちり決まっ





「辛酸佳境に入る。また楽しからずや。」

今年こそは、世界に平和が確立され、戦争や民族抗争も終焉を迎え、世界の人々が等しく人間として尊厳を持って生きられるようになることを祈らずにはおられません。そして、その方法を世界中で考えねばなりません。

今年10月、鎮西学院は、創立135年を迎えます。しかし、その135年は、苦難といばらの道でした。

今再び、鎮西学院は、少子高齢化の波に揉まれ、極めて厳しい道を歩かなければならない状況におかれています。国公立大学・私立大学、公立高校・私立高校もその存続を賭けて必死の競争を展開しているからです。競争は、激しくなるばかりです。

明治時代、足尾鉾毒事件で住民の先頭になり鉾毒問題と闘った代議士・田中正造翁は、鉾山側との戦が激しくなる中で、翁が足尾の住民を諭した言葉を表題にしています。戦いは、激しさをましているが(「辛酸佳境に入る」)、一息おいて楽しんでまた戦いに臨んで行こうというのです。翁は、地主の家柄でしたが、この戦いのためにすべてを失い、最後には、使い古しの布袋が一つ残っただけでした。その中には、一冊の新約聖書と日記が入っていました。

私たちも、また田中正造翁の言葉のように極めて厳しい戦いの局面にありますが、心に余裕をもって競争に対処して行こうと思うのです。そうすれば、素晴らしいアイデアや希望も湧いてくるものと信じています。

今年度の学院聖句は、旧約聖書・箴言23章18節「確かに未来はある 貴方の希望は断たれることはない」を選びました。私たちの鎮西学院を象徴しているかのような聖句です。

この聖句のように、希望を持って鎮西学院の全教職員や卒業生が一丸となって更に創立150年を目指して学院存続のために頑張っていきたいと思います。

嬉しいニュースがあります。東京大学名誉教授で聖学院大学の学長も歴任され、熊本県立劇場の理事長兼館長でもあられる姜尚中先生が、4月から鎮西学院教育顧問に就任されることが決まりました。鎮西学院に国際的な視野と文化的な香りを加えていただくことになります。2月2日に諫早文化会館で、鎮西学院主催で姜先生の講演会が開かれます。多くの皆様のご参加を期待しております。

鎮西学院は、いうまでもなくキリスト教主義の学校ですから主イエスが教えた「互に大切にし合いなさいなさい」という価値観を共有する教育共同体として今年も前進して行きたいと思います。

鎮西学院 院長 森 泰一郎

学校法人 鎮西学院文化講演会の歩み



森永卓郎 氏

2009年 8 月22日(土)

〈講演会テーマ〉

経済学こそ普段の生活に
密着した身近な学問



パッキンマックン

2010年 3 月28日(日)

〈講演会テーマ〉

笑っておぼえる英会話



金子哲雄 氏

2011年 1 月 9 日(日)

〈講演会テーマ〉

おカネをかけずに地域を
元気にする!



尾木直樹 氏

2011年 5 月 8 日(日)

〈講演会テーマ〉

子育てと教育は愛とロマン



菊間千乃 氏

2012年 4 月21日(土)

〈講演会テーマ〉

『人生の選択』
～私が弁護士になるまで～



ロバートキャンベル 氏

2013年 6 月29日(土)

〈講演会テーマ〉

『J ブンガク』のススメ
～文学を手がかりに知る長崎～



林 修 氏

2013年 8 月12日(月)

〈講演会テーマ〉

いつやるか?今でしょ!



姜尚中 氏

2013年12月10日(火)

〈講演会テーマ〉

心について



四元奈生美 氏

2014年 7 月20日(日)

ミニトークショー & コーチャング



名越康文 氏

2014年 8 月12日(火)

〈講演会テーマ〉

こころと心を繋ぐコミュニケーション術



秋山幸二 氏

2015年 4 月25日(土)

トークショー



松木安太郎 氏

2015年 8 月12日(水)

〈講演会テーマ〉

夢・まっしぐら



2016年 2 月 2 日(火)

姜尚中 氏

〈講演会テーマ〉

平和の条件

～核なき東アジアをもとめて～

*これまでに開催された講演会を抜粋しています。

鎮西学院幼稚園

本園の最新情報をHPに掲載しています。

鎮西学院幼稚園

検索



こんなに高く!



高校生のお姉さんと



千羽鶴を捧げます



園長 西村暢彦

体験が子どもを育む

幼い子どもは遊びの中で、「知」知識、知恵「体」体力、運動機能「社」社会性「生」生きる力を、自ら獲得していきます。この3つの力を育む遊びには、次の「5つの体験(出会い)」が大切です。

●「人」

子どもは幼稚園に来ることで、自分と違う個性の同年代と出会い、仲良くし方、自己主張の仕方、折り合いのつけ方などを身に付けていきます。

学院の「高校生」「大学生」も交流に来てくれます。これも貴重な出会い体験です。

●「もの」

生活の中では様々な「もの」に出会います。幼児は、さりげなく準備されたものを自ら使い始めます。典型的な例が「木切れ、金づち、釘」です。

廊下のテーブルに置いておくと、誰かが釘を打ち始めます。やがて、何人もの子がひたすら釘を打ち込みます。何日かすると木切れをつなぎ、何かの形を作ろうとし始めます。(この場面づくりが幼児教育なのです)

●「生き物」「自然」

園は、学院の豊かな緑に包まれています。おかげで、四季を味わい、様々な生き物にも出会います。

「桜」を楽しんだり、「梅の実」を採りに行き、「梅の実ジュース」を作ったりします。「蝶々、トンボ、バッタ、カマキリ」を網で捕まえ、虫かごに入れて観察します。秋には、銀杏などの枯れ葉を使って遊び、制作もします。

●「文化」

ツリー点灯式、市民クリスマスコンサート、園のクリスマス礼拝・祝会と、たくさんさんのキリスト教関係の文化を体験します。平和祈念式典も貴重です。鯉のぼり、七夕、節分、雛祭りなど、日本の文化体験も大切です。

私たちは、この「5つの体験」を、『意図的・計画的』に仕組んでいくことで、子どもたちをより健やかに、伸びやかに育もうとしています。



学院の芋畑で「おっきいよ!」



釘を上手に打てるかな?

「お馬に乗ったよ!」



60周年に感謝して

主 任 原 田 裕 子



60周年記念コンサート(アンサンブルレネット)

学院内の落ち葉やどんぐりを大切にそうに持って散歩から戻って来る子ども達。60年前の子とも達も同じようなことをして遊んでいたのかな。と想像しながら、その様子を眺めていました。

60年前の鎮西学院は、今以上に緑豊かな広々とした敷地に牧場があり、ジャージー種の乳牛が放牧されていた。そんな中でオルガン1台、紙芝居30組、机は男子寮のベッドを改造したものの、園児が35名でスタートされた幼稚園。日本中、戦後の復興のために誰もが懸命だった時代。しかし、鎮西学院幼稚園に來ると、子ども達は広々とした自然の中を駆け回り、イエスさまのお話を聞き、友だちと共に讃美歌を歌い、別世界のような毎日を過ごした。



学院内を散歩する子ども達

ていたのではないのでしょうか。

60年という長い歴史の中で世の中はすっかり変わりましたが、子ども達の本質が変わらないように、人として大切なものは決して変わってはいません。私達保育者は神さまからお預かりした幼な子を十分に愛し、「神と人とを愛する心豊かな人間形成」という原点を忘れることなく、日々の保育に励んでいきたいと思ひます。また、60年間お守りくださった神さまと、お支えくださった多くの方々に感謝しつつ、日々を過ごしていきたいです。

「よこしまな曲がった時代の中で非のうちどころのない神の子として世にあつて星のように輝き、命の言葉をしっかりと保つてしよう」

新約聖書ライリビの信徒への手紙第2章15〜16節

10月31日、神さまのおまもりのもとハロウィン二色の会場でイベントはスタートしました。初めから終わりまでかわいい仮装をした子どもたちがキラキラした瞳でイベントを楽しんでくれる姿、またその姿をあたたかい眼差しで見つめる保護者のみなさんを見ることができました。

仮装した人を探してお菓子をゲットするメインイベント、お化け屋敷、ゲーム、仮装グッズ・献品などの販売、先生方による作ってあそぼう、外部からの出店など、どここのコーナーも盛況だったように思います。

今年度は「バザー」という枠に縛られることなく、親子で楽しんでもらう催しにしようとして「バザー実行委員会」から「イベント企画委員会」と名称が変更になり、14名の委員でスタートしました。毎年恒例だったも



“第3回ひかりっこあきまつり”を終えて

イベント企画委員会 平野 由理
そら組代表

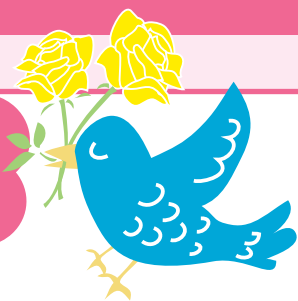
のを無くしてみたり新しいことを取り入れてみたり、多少の不安はありました。それでも最後、保護者の方も一緒に笑顔でダンスしてくださり、「あ、これよかったのかな。」と思った瞬間でした。手作り品や献品などのご協力、会場準備に後片付け、店頭のお手伝い、早朝からの駐車場整理、写真撮影、お菓子配り、警備など、支えて下さったたくさんの方々に委員一同心からお礼申し上げます。

私自身充実した貴重な時間を過ごすことができた、イベント委員をさせていただいたことに感謝の気持ちでいっぱいです。声を掛けるとすぐにとんできてくれる14名の最高のメンバー。出会いに感謝です。

みなさま、本当にありがとうございました！

紹

介



ひかり組

(年少児)

担任／橋本千亜紀

入園式で緊張していた子どもたちの姿がこの前のことのようにです。今では仲間も増え、ひかり組は19名のメンバーで、笑ったり時には泣いたり、毎日賑やかに過ごしています。

以前は自分の思い通りにならないと泣いて訴えたり、なかなかこたばで伝えることができないなどの姿も見られていましたが、「ことばで思いを伝える」ということがずいぶんできるようになってきました。またケンカをしても、悪いことをしてしまっても、「だってね・・・」となぜそうしたのかを一生懸命に伝えようとする様子が成長の証だと思っています。

また最近では、クラスの仲間意識も強くなっており、クラス全体でお気に入りの絵本を見て大笑いしたり、「○○ちゃんが休みだね」と気に掛けたりと、友だちの存在を大切に感じていることがよくわかります。

12月のクリスマス祝会では、大好きなクリスマスソングに合わせて、歌と合奏を披露し、人前で表現する楽しさや緊張感を味わい、またひとつ幼児期の貴重な思い出となりました。

いよいよ1年間をしめくくる3学期となりますが、クラスの友達と出合えて、毎日を一緒に過ごせることに心から感謝し、一日一日を大切に過ごしてほしいです。私自身も、一人ひとりの子どもたちの気持ちをしっかりと受け止めながら、心を通わせていきたいと思っています。

どうか3月までの日々を、ひかり組の子どもたちが元気に過ごせますように、神さまお守り下さい。



ほし組

(年少児)

担任／荒木 智子

月日の経つのは早いもので、4月に始まったほし組も、あっという間に3学期を迎え残りわずかとなりました。

思い起こすと、初めての集団生活。お母さんと離れるのが不安で、泣く子もいた入園当初。少しずつ園生活に慣れ、自分のことだけでなく、友達の存在に気づき、今では友達と遊ぶのが楽しくて仕方ないという感じの子ども達です。

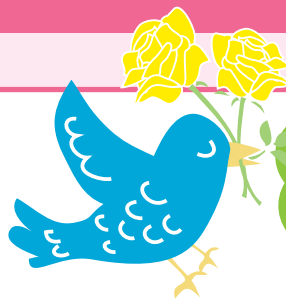
また、ほし組は穏やかで優しい子ども達ばかりです。病気で欠席した友達を心配したり、困って泣いている友達に声をかけ「大丈夫？」と励ます姿がよく見られ、大人の方が教えられ、温かい気持ちになります。

このように幼稚園生活で友達と大いに遊び、時にはけんかをしながら、友達との関わり方を自然に学んでいます。

10月の運動会では小さな体を一生懸命動かし、友達と一緒に体を動かす楽しさを味わいました。先日行われたクリスマス祝会では、かわいいうさぎ劇を沢山のお家の方々の前で披露し、自信をつけました。そして益々クラスみんなが仲間意識を持って、過ごすようになりました。

様々な行事に参加し沢山の経験を重ねて、体だけでなく心も随分大きく、たくましく成長したことを感じ、担任として嬉しく思います。

残り少ないほし組の子ども達との日々です。一日一日を大切に、神さまがいつも見守ってくださることに安心し、感謝の気持ちを忘れず、笑顔で元気いっぱい過ごしたいと思っています。



にじ組 (年中児)

担任／林田 典子

子ども達との生活がとても楽しく、あつという間に3学期を迎えました。この1年子ども達は、友だちと一緒に過ごす楽しさや、自分の思い通りにならない悔しさ、クラス全員で1つのことをやり遂げる達成感や充実感など、様々な気持ちを感じてきました。この毎日の小さな積み重ねにより、体だけではなく、心も随分大きく成長しています。

12月に行われたクリスマス祝会では、リズム劇「おむすびころりん」にチャレンジしました。練習していくうちに、子ども達の意欲も少しずつ高まり、不安な気持ちも自信へと変わりました。当日は、緊張しながらも、大勢のお客さんの前で堂々と自分のセリフを言う子ども達の姿に感動しました。

進級当初に掲げた「みんなで一緒に1日1歩」というクラス目標。いま確実に子ども達は、みんなで力を合わせて、1日1歩進み、クラスの大きな成長に繋がっています。

毎日笑顔の絶えないにじ組の子ども達。この1年たくさんの笑顔プレゼントしてくれました！残り少ないにじ組での生活。今まで以上に1日1日を楽しみ、たくさんのお出を出を作っていきたいと思います！



そら組 (年長児)

担任／江頭 弘美

年が明け、いよいよ3学期がスタートしました。そら組の子ども達にとっては、幼稚園で過ごす最後の学期となり、卒園そして小学校入学に向けての意識が高まっていく時です。

これまでを振り返ってみると、子ども達と過ごした日々は本当にあつという間で、もうすぐ卒園していくことを考えるととても寂しい気持ちになります。

鬼ごっこに夢中だった1学期。子ども達は新しいクラスの雰囲気慣れいき、大人しかった子どもも少しずつ自分を表現してくれるようになりました。

行事が盛りだくさんだった2学期。子ども達は運動会や芋掘り、バザーにクリスマスにと、たくさんの良い経験をしました。運動会での組体操では、最後まで諦めない心が育ちました。クリスマス会でのページェントやハンドベルでは、協力する気持ちが生まれ、みんなで表現する喜びを感じることができました。

そして3学期。残り3ヶ月ですが、まだまだ子ども達の成長が楽しみです。これからも周りの人への感謝の気持ちを忘れず、友達を大切にしながら笑顔で園生活を送ってほしいと思います。

「鎮西学院高等学校は、今」

校長

川村 正徳

2学期の学校行事を終えて

① 8月29日に2学期最初の行事である文化祭（ハレルヤ祭）を実施しました。

テーマとして希望の道を意味する「光道」が与えられました。本学院が被爆して70年の節目の年、希望という神の光に導かれ困難を乗り越えてきた本学院の戦後の歴史に光を当て、各クラスクラブが新企画を盛り込むなど積極的に取り組んできた成果を発表しました。午後の講堂ステージでは、卒業生の野島先輩が特別出演し、ステージを盛り上げてくれました。

② 9月5日に体育祭を実施しました。『被爆70年のこの年、私たちが恵まれた環境で体育祭ができるのは、多くの先輩方の犠牲と努力のお蔭であることを忘れないで今日一日を頑張ろう』という3年生渡部聖哉君と梶礼華さんの宣誓で始まった体育祭は、終始高校生らしい若さあふれる競技と個性豊かなパフォーマンスが披露され、生徒及び保護者の皆様方や教職員が一体となった素晴らしい一日を過ごすことができました。

③ 10月18日に、本学院と「Vファーレンながさき」が連携協定を結びました。地域の人口減少が進む中、サッカーを通して若者の受け皿になり、地元の活性化を図ろうと、昨年度から協議を進めてきました。現在、U-18に所属する県内外出身8選手が本学院高等学校に通学しています。これに加え、今後設立予定のU-24の選手についても本学院長崎ウエスレヤン大学が受け入れる予定です。

④ 10月22日に、本校OBの山口義人牧師をお招きして、創立134周年記念礼拝を執り行いました。山口義人牧師は本学院高等学校を1992年に卒業され、その後関西学院大学神学部に進まれ、現在日本キリスト教団 姫路教会主任牧師でいらつしやいます。山口義人牧師には、「希望はこうして生まれていく」と題して、高校時代の思い出や、高校時代に夢をもつて生きて行くことの大切さを語っていただきました。共に同じ学び舎で過ごした先輩・後輩が「鎮西ファミリー」としての一体感を感じるひと時を過ごすことができました。

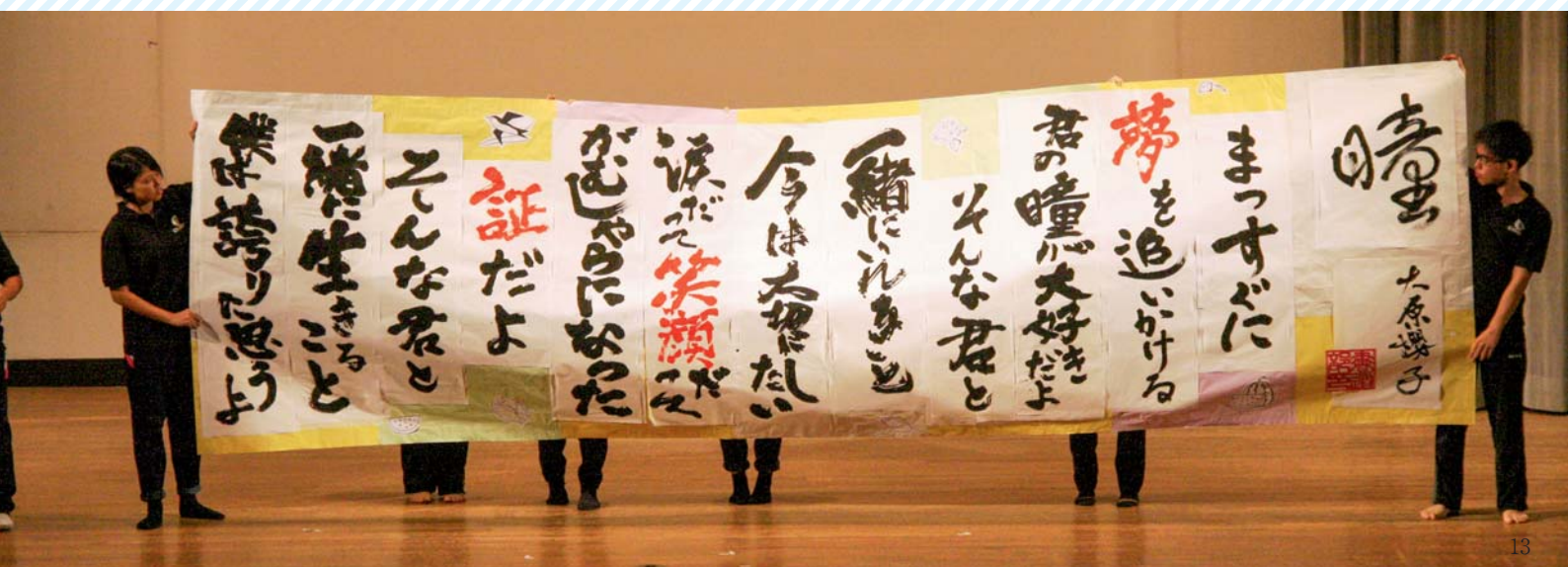
⑤ 11月12日、本学院の冬の恒例行事で今年20回目となる点灯式が高校キャンパス内で行われ、クリスマスツリーに灯がともりました。高校生・幼稚園児ら約1000名と保護者や一般見学者が見守る中、聖書が朗読され、聖歌隊や元気な幼稚園児による讃美歌が美しいハーモニーとなって響き渡りました。

12月12日には諫早文化会館で、鎮西学院創立134周年記念「諫早市民クリスマスコンサート2015」が行われました。今年の出演団体は、諫早市立諫早中学校吹奏楽部、諫早市立北諫早中学校吹奏楽部、諫早ジュニア合唱団、鎮西学院幼稚園、鎮西学院高等学校、長崎ウエスレヤン大学の6団体でした。なお、ディレクター・レポーターとして活躍中の本校OBの芳野広美さん（青山学院大学経営学部卒）が総合司会を担当、また岩本瑛里奈さん（長崎大学教育学部音楽科卒）が特別出演して下さいました。

また、12月18日には本校講堂において学校クリスマスが行われ、恒例となっている全校生によるハレルヤコーラスを歌いあげ、クリスマスの喜びを味わいました。

クラブ活動

今年度に入って女子サッカー部はめざましい活躍をみせ、春のなでしこ杯九州大会優勝に続き、九州高校総体優勝（全国高総体第3位）、全日本皇后杯選手権九州予選優勝と九州大会で3冠を獲得しました。また、2016年1月に兵庫県で行われる全国選手権大会に出場することが決定





し、日々の練習に励んでおります。

長崎県高総体駅伝競走大会では、本校陸上部がライバル校である諫早高校や瓊浦高校と最後まで三つ巴の戦いを繰り広げましたが、惜しくも第3位の成績に終わり、全国大会出場を逃してしまいました。春校バレー長崎県大会では、バレー部男子が昨年同様決勝で強豪大村工業高に挑みましたが、健闘むなしく準優勝という結果となりました。なお、男子バレーボール部は、全国私学バレーボール佐賀・長崎予選で佐賀県ナンバーワンの佐賀学園高校と決勝戦を行い、2対0で下し来年3月東京で行われる全国私学大会に出場することが決まりました。

長崎県高総体新人戦において卓球女子が団体優勝、卓球男子が準優勝を果たし、来年度の高校総体に期待が持てる結果を残してくれました。

文化部では、吹奏楽部が長崎県吹奏楽コンクールで21年連続金賞を受賞したものの、残念ながら九州大会出場を果たすことができませんでした。しかし九州マーチングコンテスト長崎県大会で金賞を受賞し、九州大会に出場を果たすことができました。

進路実績

12月11日現在で、長崎大学2名、熊本大学、長崎県立大学3名、北九州市立大学、防衛大学校(次)3名、職業能力開発総合大学校、国際基督教大学(18年ぶり)、青

山学院大学、明治学院大学、関西学院大学、西南学院大学2名、福岡大学2名、長崎ウエスレヤン大学19名等の合格が内定しております。今年は一般私学コースから公立大学や同盟校への推薦合格者を多数出すことができました。早い段階からの小論文指導や面接指導を、担任を中心として多くの教員が関わって指導したことが好成績に結びついたものと評価しております。

公務員に関しては、自衛官は自衛隊航空学生等24名の合格、公務員一般は、国家一般職、刑務官、長崎県警察等一次合格者31名を出すことができました。現在、2次試験に向けて特訓中です。

なお、一般企業就職については、三菱・日立パワーステム、たちばな信用金庫、ウラボなど、合格内定率は10月末までに5年連続の100%を達成することができました。

NHK学園鎮西学院協力校2015年のスクーリングの全日程終了

NHK学園鎮西学院協力校の今年のスクーリング(ひと月平均2回実施)の全日程が12月13日をもって終了し、1月と2月に年度末試験実施予定です。本学院協力校には76名が在籍しています。



2015年 8月～11月

各部活動戦績

女子サッカー部

全国高等学校総合体育大会

団体3位

一回戦 鎮西 4-0 神戸第一(兵庫)

二回戦 鎮西 1-1 作陽(岡山)

(pk 4-2)

準決勝 鎮西 9-0 日の本(兵庫)

長崎県高等学校女子サッカー選手権大会

優勝(九州大会出場)

決勝 鎮西 4-0 島原商業

九州女子サッカー選手権大会

優勝(皇后杯出場)

準決勝 鎮西 3-0 神村学園(鹿児島)

決勝 鎮西 6-0 琉球ディゴス

(沖縄)

九州高等学校女子サッカー選手権大会

3位(全国大会出場)

2回戦 鎮西 3-0 東海大星翔(熊本)

準決勝 鎮西 0-2 神村学園(鹿児島)

3位決 鎮西 2-0 東海大第五(福岡)

全国高等学校女子サッカー選手権大会

一回戦 鎮西 0-0 星槎湘南(神奈川)

(pk 5-4)

二回戦 鎮西 0-3 藤枝順心(静岡)

男子卓球部

長崎県卓球選手権大会

一般シングルス

2位 3 A 吉野彪功

一般ダブルス

2位 3 A 吉野・福田(卒業生)

3位 1 D 針尾・1 D 馬渡

高校シングルス

2位 2 A 田口斗真

3位 2 B 福田瑛二 1 D 針尾恭輔

高校ダブルス

3位 2 A 田口・2 C 松木

1 D 針尾・1 D 馬渡

長崎県高等学校新人大会

団体 準優勝(九州大会出場)

シングルス

3位 1 D 馬渡元樹

ダブルス

3位 2 A 田口・2 C 松木

1 D 針尾・1 D 馬渡

和歌山国体

第5位

監督・松井伸英 選手: 3 A 吉野彪功

女子卓球部

長崎県卓球選手権大会

一般シングルス

3位 2 E II 富田弥佑

一般ダブルス

1位 2 E II 富田・2 D 安田

高校シングルス

1位 2 E II 富田弥佑

高校ダブルス

1位 2 E II 富田・2 D 安田

長崎県高等学校新人大会

団体 優勝(九州大会出場)

シングルス

1位 1 C 李 楠

3位 2 E II 富田弥佑

2 F 上口あいり

ダブルス

1位 2 E II 富田・2 D 安田

3位 2 C 平松・1 C 李楠

陸上部

長崎県高等学校新人大会

男子1500m

1位 2 C 阿比留 魁

男子3000m

1位 2 K 辻 将夢

長崎県高等学校総合体育大会

駅伝の部 第3位

男子バレーボール部

春高バレー県大会

準優勝

準決勝 鎮西 2-0 南山

決勝 鎮西 0-3 大村工業

柔道部

長崎県高等学校新人大会

男子個人

73kg級 3位 2 B 山本大輝

女子個人

52kg級 3位 1 D 田村夏鈴

70kg級 3位 2 K 下釜さおり

78kg級 2位 1 F 岩崎 唯

3位 1 B 山本真琴

体操部

長崎県高等学校新人大会

男子 団体 準優勝

ボクシング同好会

国体九州ブロック大会

ライトウェルター級 3位 3 J 大坪知生

和歌山国体

ライトウェルター級 5位 3 J 大坪知生

吹奏楽部

長崎県吹奏楽コンクール 金賞

長崎県マーチングコンクール 金賞

九州マーチングコンクール 銀賞

書道部

高野山競書大会

一般の部

特別賞 濱田紘寿 教諭

学生の部

特別賞

2 E I 中島鶴絵 3 D 山新田育美

特選

3 C 土肥楓夏 3 E I 中島 巖

3 C 辻口真奈 2 C 森 結香





鎮西学院諫早市民クリスマスコンサート2015

今では国民的行事となっているクリスマス。正しくは Christmas と表記され、Christ (キリスト) と mas (ミサ・礼拝) の二つの言葉が合わさり、キリストの礼拝と言う意味である。救い主であるイエス・キリストの誕生を喜び祝い、感謝をする礼拝ということになる。昨今、いたる所でクリスマスと称するイベントや催し物が行われているが、本当の意味でのクリスマスを行っているのはわずかであろう。その本物を体験できるのが、鎮西学院諫早市民クリスマスなのである。

今年は12月12日(土)13時30分に、一部「礼拝」、二部「祝会」の二部構成で行われた。一部の礼拝では、オール鎮西学院が参加し、吹奏楽部の演奏によるファンファーレに続き、一同で讃美歌158番を讃美した。総宗教主事の祈祷の後、大学生の聖書朗読と、高等学校コーラス部の讃美歌斉唱を交互に行い、御言葉と讃美のコントラストを楽しみ、その間に幼稚園児が舞台に立ち、クレッシュ(イエスの誕生の場面を人形等を用いて表したもの)を再現。目で見えるイエスのご降誕を演出した。園児の讃美の後、讃美歌112番を讃美、幼稚園児の祈祷を行い、吹奏楽部の演奏による後奏をもって一部は終了した。

二部「祝会」は、大学留学生による「One Music One World」を皮切りにスタートした。全八ヶ国の留学生が集い、それぞれの国を代表するパフォーマンスを披露し、国際色豊かなひと時を与えられた。2 番目は幼稚園児によるハンドベル演奏「おめでとうクリスマス」と「ドレミのまほう」の合唱が行われ、その愛らしさとひたむきさは会衆を魅了した。その後はゲスト出演となり、諫早ジュニア合唱団が「クリスマスキャロル・メドレー」等4 曲を合唱、北諫早中学校吹奏楽部が「Happy! Happy!! Happy!!! X'mas」、諫早中学校吹奏楽部が「アーセナル」「クリスマス・イブ」を演奏して下さった。どの音色も温かみがあり、クリスマスにふさわしいものであった。時間を割いてこの市民クリスマスに参加して下さいた若人やその指導者に、心から感謝する次第である。最後は鎮西学院高校吹奏楽部の演奏が行われた。1 曲目は「ルイ・ブルジョワの賛歌による変奏曲」、2 曲目に高校卒業生のサクソフォーン演奏者 岩本瑛里奈さんが登場して、「カーニバル」を後輩達と共演し、クリスマスを盛り上げた。その後はクライマックスを迎え、吹奏楽部の演奏に合わせ、ヘンデル作曲の「メサイヤ」にある「ハレルヤコーラス」を一同で合唱した。

グランドフィナーレとして鎮西学院の出演者が登壇し、「赤鼻のトナカイ」と「きよしこの夜」を合唱し、プログラムを閉じた。

今回も昨年に引き続き、司会に高校卒業生の芳野裕美さん、手話通訳者に大学卒業生の谷川尚美さんを迎え、鎮西学院諫早市民クリスマスコンサートを実施できたこともクリスマスの喜びの1 つであろう。

次年度は学院創立135周年の記念の年を迎える。今まで以上に市民の皆さんの心に残る市民クリスマスを創造すべく、良き準備の時を与えられたいと願っている。

鎮西学院 総宗教主事 鐵 口 宗 久



飛躍の年を振り返る

2015年1月3日、本校女子サッカー部は、全日本高等学校女子サッカー選手権大会（兵庫県）で2015年をスタートした。1回戦の相手である東北代表の富岡高校に3対1で勝利。県勢初勝利を飾った。2回戦は地元兵庫県代表で昨年度覇者の日ノ本学園高校。結果は0対4で敗れ2014年度の最後の試合を終えた。悔しい思いもあったが、川原監督の「満足感のある試合だった」がその後の飛躍につながる。

2015年度のチーム目標は「九州王者」と「全国ベスト4」これを支えるスローガンを「有言実行」として新チームがスタートした。全国大会から間をおかず新メンバーで臨んだ県新人戦で4連覇を果たすと、3月の県外遠征で力をつけ臨んだ九州なでしこ大会県予選も2連覇を達成。5月の西日本大会でスタイルの違うチームと戦い力をつけた。しかし、この大会でDFの大塚が負傷で離脱。5月9日開催の、九州なでしこ大会に不安を残したまま初戦を迎えた。1回戦の佐賀大学を4対0で下し幸先の良いスタートを切るが、ここでさらなる試練がチームを襲う。準決勝の大分トリニタレ

デイスに4対0で勝利するものの、この試合でキャプテン矢野が負傷。精神的支柱を失うこととなった。決勝戦では常勝神村学園との戦いとなったが、「九州王者」を目標に掲げるチームは底力を発揮、攻め込まれる場面もあったが、DF峰本、渡邊を中心に守り抜き0対0のまま延長戦でも決着がつかずPK戦に突入。5人全員が決め勝利を手にした。チーム一丸となった大会無失点の粘りと1年生の活躍が大きな扉を開き、九州大会初優勝を飾った。

6月に入り県高校総体で5連覇を達成すると、勢いそのままに九州大会を勝ち上がる。初戦美里高校には、けがから復帰した矢野のゴールを含む4得点で快勝。続く準決勝は九州2枠のインターハイ切符を懸けた神村学園との対戦。再び立ちはだかる大きな壁に序盤から押し込まれる展開となったが、GK岩井を中心に、DFラインの山本、渡邊、峰本、牛崎と、MF三本、山川の統率された6枚が相手の攻撃に耐え続けカウンターを狙った。先制ゴールは山川後半10分、CKからのこぼれ球をダイビングヘッドで押し込み、これが決勝点となった。





決勝戦の相手は東海第五(福岡)。序盤から圧倒的に試合を支配しながら得点ができない時間が続いた。何度もゴールに迫りながらネットを揺らすことができない。嫌なムードを払拭したのは、昨年11月に右膝を手術して戦列を離れていた3年生のDF田中だつた。途中出場の後半10分、CKに飛び込み頭で合わせた。「ずっとみんなに支えられた」と話す苦労人が試合を動かすと、さらに5分後、MF三本が2点目を押し込み勝利を決定づける。九州連覇を告げる試合終了のホイッスルが高々とグラウンドに響いた。

「風になれ 今青春が走り出す」をスローガンにした全国高校総合体育大会(君が創る近畿総体)が8月5日から兵庫県で開催された。「全国ベスト4」を目標に掲げる大会がスタートした。初戦の相手である地元神戸第一を開始直後から圧倒し、4対0で幸先の良いスタートを切った。目標の4強入りを懸けた次の試合は、くしくも2年前に準々決勝で敗れた作陽(岡山)。開始早々にPKでいきなり失点したが、前半21分、一時期けがで戦列を離れていたDF田中が右サイドを突破しゴール前へ絶妙のクロスボール。これに頭で合わせたのがキャプテン矢野。阿吽の呼吸が同点弾を生んだ。その後は両チーム一進一退の攻防を繰り返したが同点のままPK戦へ突入。PK戦に入

ると、これまでずっと最後尾からチームメイトを鼓舞し、背中を押し続けてきたGK岩井が相手の1本目をファインセーブ。後蹴りの4人目はDF峰本、これを決めれば勝利が決まる。右足で放たれたボールがネットを揺らした瞬間、センターサークルから笑顔のメンバーが飛び出した。「有言実行」のイレブンが「全国ベスト4」をつかんだ。続く準決勝は昨年の覇者日ノ本学園。40度を超えるピッチコンディションの中、防戦一方の試合展開にも真つ向勝負を挑んだ。大差で敗れたが日本一を感じた貴重な財産となった。優秀選手メンバーにはキャプテン矢野が名を連ねた。

夏の全国3位から一回り成長したイレブンが再び躍動する。10月に行われた九州女子サッカー選手権大会(鹿児島県霧島市)で優勝し、九州大会3連覇で皇后杯出場。直後に開催された全日本高等学校女子サッカー選手権大会九州予選でも3位入賞し全国への切符を三たびつかんだ。田中前監督のモットーである「ステップバイステップ」を継承し、つなぎ続けた全国への道のり。部員44名の、明るく抜群のチームワークを誇る女子サッカー部が、インターハイ3位の兵庫の地で再び頂点を目指す。2016年1月3日、今シーズンの集大成を川原監督の「有言実行」が締めくくる。



「長崎ウエスレヤン大学は、今」

新たな年を迎え、飛躍の年としてこの一年間を過ごしていきたいと考えています。これからも、本学の教育にご理解を賜り、ご支援のほどをお願い申し上げます。

六月以降の動きとしては、「大学力」の向上のための経常費・施設費・設備費を一体として重点的に支援される文部科学省平成27年度私立大学改革総合支援事業に申請し、本学はタイプ1「教育の質的転換」とタイプ4「グローバル化」で採択され、私立大学経常費補助金等が増額され教育環境がより充実したものとされます。また、文部科学省から「成長分野における中核的専門的人材養成の戦略的推進事業」（観光分野）が今年度も委託され研究調査も進めています。

中期経営戦略の「活動する学生」の目的を達成するために、学生たちのフィールドワークの場の確保やインターンシップの研修機会などを地域との連携を図りながら進めています。今年度は、諫早市社会福祉協議会との連携協定、V・ファールン長崎とは学院として連携協定を締結し地域連携の強化に努めています。

学園祭でもある\$2祭も盛況に終わりました。今年度は、諫早農業高校、島原商

業高校の生徒さんの参加もあり、併せて卒業生を対象とした3回目を迎える「ホームカミングデー」にも多くの短期大学・大学のOB・OGが集まってくれました。夕方からの懇親会には、鎮西学院短期大学3期生+沖縄合同同窓会も合流し、多くのOB・OGに参加して頂きながら、教職員との楽しい交流の時間を持つことができました。

また、お気に入りの本の魅力を訴える知的書評合戦「ビブリオバトル」では、経済政策学科3年生の藤原礼武君が北部九州大会で準優勝し、首都決戦に出場しました。他にも、学生サポーターズの「ぶくろ倶楽部」が御館山小学校での読み語りなど教育活動にも活動を広げています。

こうした教育・研究をさらに発展させ、地域から信頼される、地域になくてはならない大学づくりに邁進いたしますので、どうぞご支援頂きますようお願い申し上げます。

学長
佐藤 快信





今年も『短期大学・大学ホームカミング』が開催されました。

大学 第8回卒業生

竹田 雄亮

大学2ドル祭が行われた10月31日土曜日『鎮西学院校友会 短期大学・大学部会ホームカミング』が開催されました。

巣立って行った校友のみなさんを、年に一度母校が「おかえりなさい」と迎えてくれるこの日は、今年もたくさんの方の皆さんが「ただいま」と笑顔で参加されました。

特に大学からホテルセンリウに場所を移して行われた第二部の懇親会では、お酒を交えながらそれぞれが学生時代の思い出話に花を咲かせ、久しぶりに学生時代に戻ったような気分を味わいました。

また、懇親会中の催し物として留学生のパフォーマンスやウエ大のこの青年団による「祭りののこのこ」も披露され会場は終始笑顔と楽しい雰囲気になっていました。そして、こちらも恒例となった最後のビンゴ大会では長崎和牛やタブレット端末など今年も豪華景品が用意されビンゴの数字が読み上げられる度に一喜一憂し大盛り上がりとなりました。景品が当たった方はもちろん、惜しくも当たらなかった方もこれにめげず是非来年のビンゴ大会もまた楽しみにして下さい！

昨年同様、我が母校らしいアットホームな雰囲気の中、みなさんの笑顔溢れる1日となりました。

来年もまた、この日にたくさんの校友のみなさんの「ただいま」が聞けることを楽しみにしています。



2016年卒生進路状況

2015年12月末時点

キャリア支援係

■卒業予定者**91**名（就職希望者77名 就職希望しない者14名）

■就職希望者内定率**58.4%**（内定者45名／就職希望者77名）

■学科別内定率 社会福祉学科**45.9%** 経済政策学科**73.1%** 外国語学科**64.3%**

■就職希望者以外**14**名（進学・留学7名 帰国・その他7名）

1 本学の就職内定率58.4%

前年同期比10.0%増（前年卒業生4月末時点91.5%）
文科省調査10月1日時点 全国62大学抽出66.5%（昨年同期比1.9%減）

長崎労働局統計11月末時点 長崎県内8大学70.1%
（昨年同期比2.5%増）

2 県内就職にこだわる本学生

本学内定率は文科省調査（10月1日時点）66.5%に比較すると8.1%下回るが11月末時点の県内大学内定率70.1%（県内62.0%県外75.3%）、特に県内就職に比較すると3.6%マイナスとその差は小さくなる。県内大学の統計で県内就職62.0%県外就職75.3%と13.3%もの開きがあるように県内の就職環境は厳しい。にもかかわらず本学生は県内就職にこだわる傾向が強い。上記本学内定者45名のうち県外勤務となるのは3名のみで、ほとんどが県内就職を希望しており、その為苦戦している。

（参考）本学に送られて来る求人件数で見ると、2016年卒業対象の場合全求人件数が約2,400件、うち県内求人は約400件。

3 県外企業内定者は早期短期決着

数少ない県外企業内定者は卒業前年の7月に早々と内定獲得している。地元こだわらず県外就職をめざして早期に就職活動を開始した学生は早期に内定し、余裕をもってその後の残された学生生活を楽しむことができ、卒業論文にも集中できている。

4 社会福祉学科生の内定率が低いわけ

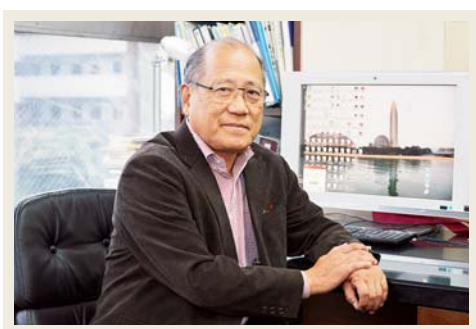
一般に社会福祉を学んでも社会福祉業界に就職する学生は多くはない。本学では社会福祉学科生の2/3と多いほうだが、都市部の大学では1割程度と聞く。また、福祉業界の採用活動開始は秋以降のところが多く全業界の中では遅い。この動きに連動して社会福祉学科生の就職活動開始時期は遅くなりがち。危険なのは他業界志望の社会福祉学科生までも他の同学科生の動きにあわせて開始が遅れ、4年生後期になっても就活を始めず、そのうちに卒業論文の締切（本学社会福祉学科は10月末）に追われ「就職活動どころではない」という状態に陥る。

このため冒頭のように12月末時点での社会福祉学科の就職率が極端に低くなっている。さらに、1月下旬に実施される社会福祉士・精神保健福祉士の国家試験を受ける者は就職活動が後回しされる。しかし試験後は活動開始するので、卒業式までには少しでも多くの学生が就職決定出来る様今後指導を強化していきたい。

以上



重松史郎司法書士事務所

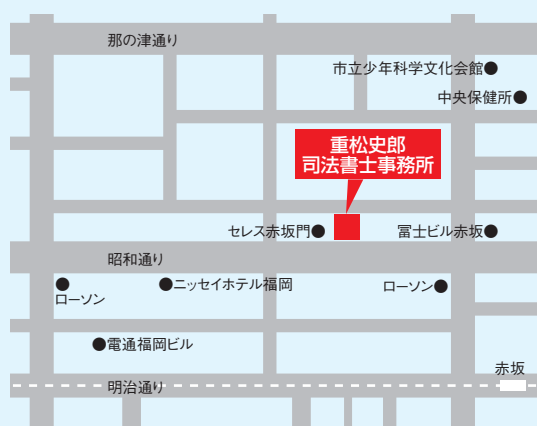


司法書士

重松史郎 (新高18回生)



事務所



〒810-0073

福岡市中央区舞鶴3丁目1番8号
(本町ビル3階)

TEL 092-751-7863

FAX 092-751-2482

E-mail shuna@xg7.so-net.ne.jp

「シャロン」

シャロンというのは聖書の舞台であるイスラエルの地名のひとつで、乾燥した気候のイスラエルにあっては珍しく、植物が生い茂り、花も咲く肥沃な土地なので、旧約聖書の中では理想郷のように扱われている場所です。「シャロンの花」とはそこに咲く可憐な花で、日本では「むくげ」と呼ばれます。旧約聖書の一編である「雅歌」では、純潔の象徴としてこの花が登場します。

讃美歌Ⅱ192番 "Jesus, rose of Sharon" Lyrics Ida A. Guirey 1922 Music Charles H. Gabriel 1922

学校法人

鎮西学院

〒854-0082 長崎県諫早市西米田1212-1

TEL 0957-26-8200 URL <http://www.chinzei-gakuin.jp/>

鎮西学院幼稚園

TEL 0957-25-1231

FAX 0957-25-1257

URL <http://chinzeigakuinyouchien.ed.jp>

鎮西学院高等学校

TEL 0957-25-1234

FAX 0957-25-1237

URL <http://chinzeigakuin.ed.jp/>

長崎ウエスレヤン大学

TEL 0957-26-1234

FAX 0957-26-2063

URL <http://www.wesleyan.ac.jp>

鎮西学院だより「シャロン」
2016. Vol.2

発行日／2016年1月30日

編集・発行／鎮西学院広報戦略室

発行人／森 泰一郎(学院長)

編集長／上田 常雄(広報戦略室長)